



新型肺炎(新型コロナウイルス)に関する注意喚起について(2021年8月更新)

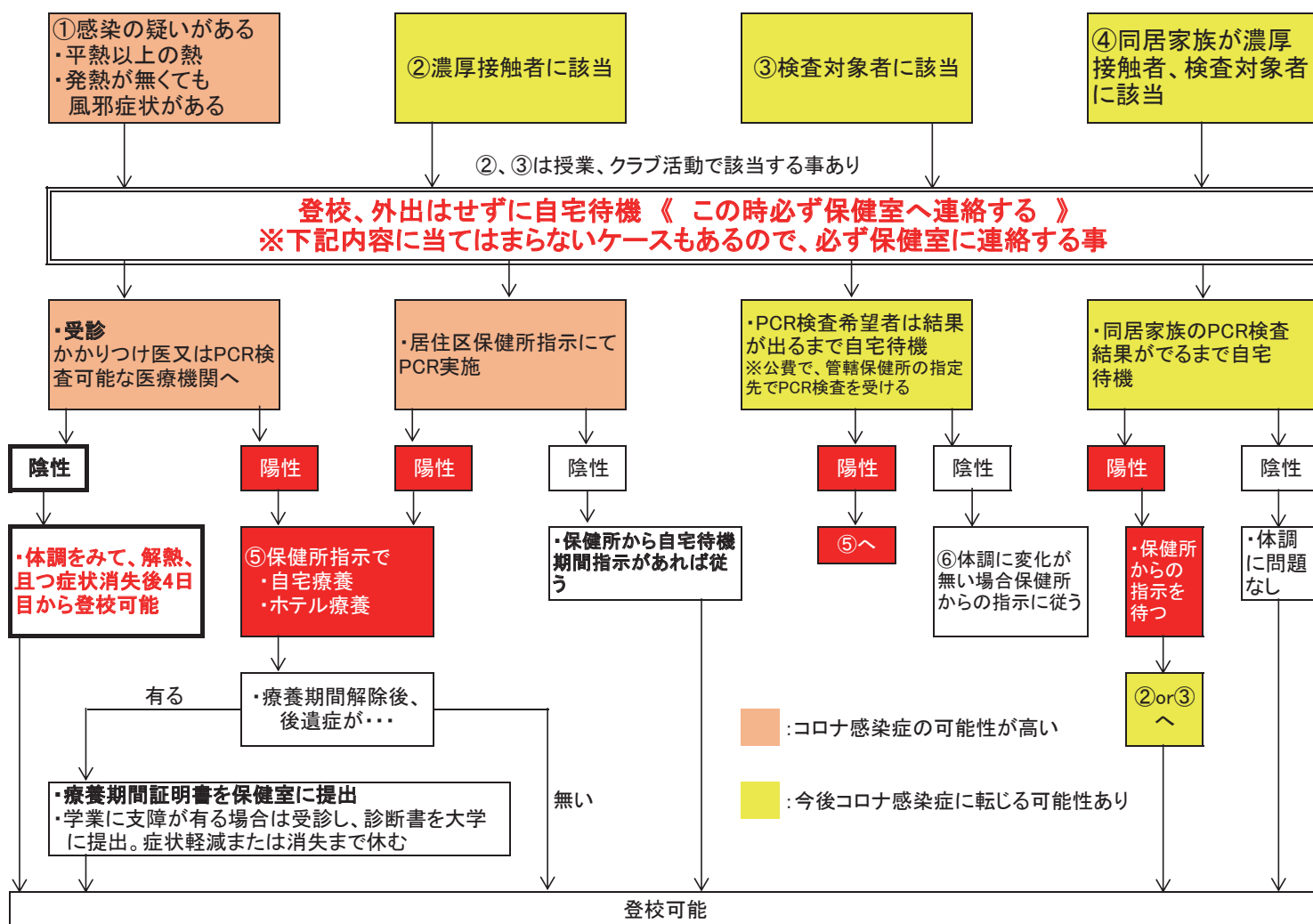
新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は「かかりつけ医等の地域で身近な医療機関」に電話相談しましょう。相談する医療機関に迷った場合は、居住区の保健所(受診・相談センター)に相談してください。

※厚生労働省:新型コロナウイルス感染症ポータルページから居住地を選択

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html)

引き続き、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、ハンカチ、袖などを使って、口や鼻をおさえる)や手洗いなどの実施がとても重要です。「3つの密」を避け感染症対策を行いましょう。

また、登校の有無に関わらず、必ず自宅で体温測定・体調確認を行い「体温送信フォーム」に回答してください。



※上記内容に当てはまらない場合もあり、保健所・保健室の指示をあおいでください。

※厚生労働省、文部科学省、日本医師会の指針準拠し作成 政府の発表に準じ適宜更新予定

連絡先	福岡女学院大学 学生課大学保健室 看護師: 嶋田, 久保田	TEL 092-575-6301 (保健室直通 平日9:00~17:00) E-mail:hoken@fukujo.ac.jp
------------	----------------------------------	--

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

